

エラー表示について

エラー表示とは

- ・カウンターではスケールの状態やカウンター内部の状態を常に監視しています。そのいずれかに異常が発生した場合、番号や記号でその異常の内容を表示します。

エラー表示

番号	エラー表示	エラー内容	エラー解除方法
		電源投入時以外に表示された場合、瞬時停電が発生したことを示します。	AC100V電源を調べてください。
5	5 Error	スケールエラーが発生しました。異常が発生した各軸に対して表示されます。	CE キーによりエラー表示は解除できますが多発する場合にはサービスコールが必要です。
6	6 Error	バッテリーの電圧が低下しました。	サービスコールが必要です。
27	27 Error	オーバートラベルです。スケール原点から一定距離以上動いた時に表示します。 この距離はパラメータに数値で格納されています。	機械を反対方向に戻してください。
42	42 Error	パラメータの内容が消えました。	後述の「標準パラメータの設定」に従ってパラメータの再設定を行ってください。 多発する場合にはサービスコールが必要です。
44	44 Error	メモリーの内容が消えました。	後述の「メモリー内容の全消去」に従ってメモリーの再設定を行ってください。 多発する場合にはサービスコールが必要です。
68	68 Error	多点補正を使用しようとした時に0.000mmでの補正量が設定されていません。	多点補正の設定を正しく行ってください。
	OF	表示が桁数を越えました。	表示が桁数に入る様に機械を戻してください。

パラメータについて

パラメータとは

- ・パラメータはカウンターのいろいろな機能を指定するものでカウンター内部に数値で記憶されています。パラメータには番号が付いておりその番号により設定内容が異なります。パラメータはスケールまたは機械に合わせて正しく設定されていなければなりません。
- ・パラメータは通常変更する必要はありませんがエラーが表示された場合には再度正しい値に設定し直していただく必要があります。設定値を間違えますと思わぬ表示となることがありますので充分注意して取り扱ってください。

パラメータを変更するには

◆パラメータの変更手順

例としてパラメータ2番（アブソリュート原点シフト量）のX軸に12.5を設定する場合の操作方法について説明しますが他のパラメータについても同様に行うことができます。

（注）パラメータを設定する場合、最初にパラメータ1番の「スケール分解能」を決定してください。その値により他の設定値の小数点位置が決定されています。

◆パラメータの表示画面では **X0** キーは番号と設定内容の切り換えとして使用されます。

- ・ **開** キーを押しながら電源を投入します。

主表示は右図の様になりパラメータ番号を表示します。

- ・そこでパラメータ番号を入力します。

2 **ENTR** と押します。

SP01

- ・パラメータ2番の内容が表示されます。

SP02

0.000
0.000

- ・ **X** キーを押し、X軸を選択します。

0.000
0.000*

- ・数値を入力し、最後に **ENTR** キーを押します。

12.500
0.000

- ・必要な設定をすべて終えたら最後に電源を入れ直してください。

標準パラメータの設定

- ◆本カウンターにはパラメータが消えた時に簡単に復帰できる様に「標準パラメータ」が内蔵されています。パラメータが消えた時にはこの「標準パラメータ」を読み出し、続けて必要な部分を再度設定し直すことにより短時間でパラメータを元に戻すことができます。

◆標準パラメータの設定手順

(注) 標準パラメータを設定しますと記憶している座標値も初期化されます。

- ・ **[X0]** キーを押しながら電源を投入します。

主表示は右図の様になります。

READY

- ・ 続けて **[ENTR]** キーを押します。(長押しです)

主表示は右図の様に変化し標準パラメータが設定されます。

PASS-1

PASS-2

PASS-3

- ・ 最後にもう一度電源を入れ直してください。

多点補正について

- ・ 多点補正は超高精度の加工が必要な場合に、機械の総合精度を基準尺に合わせて近似線分で補正します。
- ・ 補正量の設定は有償にて承っておりますので弊社各オフィスへご用命ください。

特殊な操作

- ・ 本カウンターで特殊な用途に使用される操作方法には以下の種類があります。
(通常は使用しません。)

操作	内容
[] キーを押しながら電源を投入	パラメータモードになります。
[X0] キーを押しながら電源を投入	標準パラメータの設定モードになります。
[ENTR] キーを押しながら電源を投入	メモリーを消去します。

パラメータ 一覧

パラメータ 一覧			
番号	内 容	標準設定値	設 定 範 囲
1	スケール分解能 (使用している スケールに合わせ ます。)	00001011	00001011 = 5 μ m 1001 = 1 μ m
2	原点シフト量	0.000	± 99999.995 mm
5	ロストモーショ ン補正量	0.000	± 99999.995 mm
6	ストロークリミ ット (+側)	1000.000	~ 99999.995 mm
7	ストロークリミ ット (-側)	-1000.000	-99999.995 mm $\sim$
30	スケール読み取 り方向	00000000	00000000 = 極性 (+) 00000001 = 極性 (-)
31	スムージング	00000000	00000000 = スムージングしない 00000001 = スムージングする
40	座標値記憶機能	00000000	00000000 = 座標値記憶しない 10000000 = 座標値記憶する

(注) 上記以外の番号の内容は標準設定値から変更しない様にしてください。

直径表示にするパラメータ

S P 42 の右1桁目が1なら半径、0なら直径表示になる